

# 技術指導申請書 (日本語)

기술지도 신청서 (일본어)

申請番号: KJC-2026-0056

☑ 翻訳者: 번역가 계정 (translator)

📅 完了日: 2026-06-04 15:25:10

企業概要	企業名 (英文)	DKM Motor		
	所在地	(22117) 仁川市 미추홀구 염田路292 2階		
	業種	<p><input checked="" type="radio"/> 機械 / 重工業 (工作機械、産業機械、建設機械、プラント設備)</p> <p><input type="radio"/> 金属 / 素材 (鉄鋼、非鉄金属、合金、新素材[炭素繊維、セラミックス等])</p> <p><input type="radio"/> 電気 / 電子 / IT (半導体、ディスプレイ、電子部品、通信機器、電子機器)</p> <p><input type="radio"/> 自動車 / 輸送機器 (完成車、自動車部品、鉄道・航空・船舶部品)</p> <p><input type="radio"/> 化学 / 石油化学 (精密化学、高分子・プラスチック、合成樹脂、機能性素材)</p> <p><input type="radio"/> エネルギー / 環境 (二次電池[バッテリー]、水素、新エネルギー、環境設備)</p> <p><input type="radio"/> 食品 / 生活用品 (加工食品、飲料、消費財生産)</p> <p><input type="radio"/> 繊維 / ファッション (一般繊維、機能性繊維、衣料製造)</p> <p><input type="radio"/> バイオ / 医療 (医薬品、バイオ素材、医療機器、ヘルスケア)</p> <p><input type="radio"/> その他</p>		
	設立年度	2000	従業員数	38
	主な生産品	小型ギアードモーター		
	ホームページ	<a href="https://www.dkmmotor.com">https://www.dkmmotor.com</a>		

技術指導 申請情報	指導希望期間	2026年 8月 ~ 10月 (3ヶ月)		
	指導方法	<p><input checked="" type="radio"/> オフライン (訪韓指導) : 日本の技術者を企業の製造現場に招待して指導を受ける形式</p> <p><input type="radio"/> オンライン (遠隔画像指導) : Zoom、Teams、Google Meetなどのビデオ会議プラットフォームを活用して指導を受ける形式</p> <p><input type="radio"/> オン+オフライン並行指導</p>		
	指導希望内容	1) モーター・減速機組立現場の工程診断および技術指導		
		2) モーター・減速機の不良率改善および品質管理体制の構築		
3) 生産工程の効率化および生産性向上				
技術指導 希望分野	<p><input type="checkbox"/> 研究開発 (新製品 / 新技術研究、新素材開発、プロトタイプ製作)</p> <p><input type="checkbox"/> 設計 (製品設計[CAD/CAE]、回路設計、金型 / 治工具設計)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 生産技術 (工程設計、生産ライン構築、生産性向上、自動化推進)</p> <p><input type="checkbox"/> 製造 (加工、組立、成形、溶接、組立ライン運営)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 品質 (品質検査、不良分析、ISO / KS認証対応、品質改善活動)</p>			

		<div><input type="checkbox"/> 設備 / 保全（生産設備点検、故障対応、予知保全、ロボット / 自動化設備管理）</div> <div><input type="checkbox"/> 生産管理（生産計画立案、資材所要量管理[MRP]、原価 / 納期管理）</div> <div><input type="checkbox"/> 購買 / 資材調達（原材料購買、協力会社管理、サプライチェーン管理）</div> <div><input type="checkbox"/> 物流 / 在庫（原材料入出庫、製品出荷、物流自動化）</div> <div><input type="checkbox"/> 安全 / 環境（労働安全管理、環境規制対応、ESG経営支援）</div> <div><input type="checkbox"/> 市場調査（産業動向、競合分析、新技術トレンド調査）</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div>
	悩み技術 製品写真	

申請の きっかけ	技術指導事業申請のきっかけ
<p>当社は、産業用モーターおよび減速機を専門的に製造する企業として、各種産業機械および自動化設備に適用されるACギヤードモーター、減速機を生産しております。</p> <p>近年、韓国内外の産業用モーターおよび減速機市場では、自動化設備の拡大、スマートファクトリーの構築、物流自動化およびロボット産業の成長に伴い、高品質・高信頼性製品に対する要求が継続的に高まっております。</p> <p>一方、韓国国内の製造企業は、生産技術および品質管理の面において継続的な改善要求に直面しており、当社においても製造現場の競争力強化に向けた体系的な改善活動が必要な状況です。</p> <p>現在、当社ではモーターおよび減速機の組立工程において、作業者ごとの熟練度の差による品質のばらつきが発生しており、一部の工程では作業方法および管理基準が経験に依存している部分があるため、工程の標準化が求められております。また、製品の騒音、振動、発熱などの品質特性に影響を及ぼす主要な工程要素について、体系的な管理基準を確立する必要があります。</p> <p>品質検査分野では、モーターおよび減速機の性能検査、騒音検査、外観検査などの信頼性向上が求められており、検査方法および判定基準の標準化を通じて、検査結果の客観性と再現性を確保する必要があります。特に、品質データの活用度を高め、不良発生原因を早期に分析し、予防できる体制を構築することが必要な状況です。</p> <p>また、生産ラインの工程配置および物流フローの面においても、生産効率向上の余地があり、工程間の移動距離および仕掛品の発生を最小限に抑えることができる生産レイアウトの改善を通じて、生産性向上とコスト削減を推進したいと考えております。</p> <p>このため、日本の製造現場専門家による技術指導を通じて、先進的な製造革新手法と現場改善ノウハウを導入し、生産工程の標準化および品質競争力の強化を推進したいと考え、本事業への参加を申請いたしました。</p>	

期待効果	日本技術者指導の必要性および期待効果
<p data-bbox="60 107 1535 181">日本は、モーター、減速機および産業用駆動機器分野において世界的な競争力を有しており、製造現場における工程標準化、品質安定化および継続的改善活動の分野で長年の経験とノウハウを蓄積しております。</p> <p data-bbox="60 320 1535 439">特に、日本の製造企業は、作業者個人の熟練度に依存することなく、標準化された工程運営を通じて均一な品質を確保する体制を構築しており、生産現場の小さな問題点まで体系的に分析し、改善する現場中心の製造革新活動を継続的にっております。</p> <p data-bbox="60 577 1535 739">当社は今回の技術指導を通じて、日本の製造現場における実務経験を有する専門家から、工程管理、品質管理、生産性向上および製造革新手法を直接学び、製造競争力を一段階向上させたいと考えております。また、日本人技術者の客観的な視点により、現在の生産工程と品質管理体制について診断を受け、改善課題を導き出すことで、持続可能な製造革新の基盤を構築したいと考えております。</p> <p data-bbox="60 878 1535 952">当社の目標は、モーターおよび減速機の製造過程で発生する品質のばらつきを最小限に抑え、生産現場の運営効率を向上させることです。</p> <p data-bbox="60 1090 1535 1209">現在、一部の組立工程では作業者の経験と熟練度に依存している部分があり、同一作業であっても作業者ごとに品質差が発生する可能性があります。そのため、日本の製造現場専門家による技術指導を通じて、工程別の管理基準と作業方法を体系的に整備し、誰が作業しても同一の品質水準を確保できる標準化された生産体制を構築したいと考えております。</p> <p data-bbox="60 1348 1535 1467">また、モーターおよび減速機の品質検査工程において、検査方法と判定基準をより体系化し、検査結果の信頼性を高めるとともに、品質データを効果的に活用できる管理体制を構築したいと考えております。これにより、品質問題を事後的に発見する方式から脱却し、事前に予防・管理できる品質経営体制を強化したいと考えております。</p> <p data-bbox="60 1606 1535 1680">生産現場の運営面では、工程間の物流フローと作業動線を分析し、不要な移動や待機時間を最小限に抑えるとともに、生産レイアウトをより効率的に改善することで、生産性向上と製造原価の削減を推進したいと考えております。</p> <p data-bbox="60 1818 1535 1980">本技術指導を通じて、生産工程の標準化、品質管理水準の向上および生産効率の増大を達成することにより、不良率の低減と顧客満足度の向上が期待されます。また、製造現場の改善活動が一過性のものにとどまらず、継続的に運営されるよう、現場改善能力と製造技術ノウハウを社内に定着させ、長期的な製造競争力強化の基盤を整備していきたいと考えております。</p>	